

「チャレンジクラス」申合せ事項

1. 本大会は、令和8年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」および本大会「申合せ事項」および「競技上の注意事項」を適用する。
2. 競技順序は「実施種目一覧表」の上から順番に行い、レースは女子から男子、障害区分番号の上から順に行う。
3. 「実施種目表」①・②は、制限時間(5分間)を設けて実施する。その制限時間(5分間)を超えた場合は、タイムオーバーで失格とする。
「実施種目表」①では、泳者は歩行しても浮助具を使用しても良い。また、介助者は声かけ・伴泳はしても良い。ただし、泳者より前に進んだり、泳者に触れた場合は失格となる。
プログラムの特記事項に「水介」とついている選手は入退水時の介助あり。
4. 伴泳もしくは入水し声掛け等する介助者は水面から手を出す事。水面から手を出すのが、難しい方は事前に申し出ること。
5. 浮助具を使用する選手のゴールタッチは、身体の一部が壁に触れたことにより判定する。
6. 招集所は体育館内とし、招集は競技開始の15分前開始。5分前終了とする。時間に遅れた場合には棄権とみなし、呼び出しは一切行わないので注意すること。
7. 競技時間は進行の都合により変更する場合がありますので、招集所の表示に注意すること。
8. 浮助具使用の選手は、自ら持参した浮助具を使用できる。
9. 全種目水中スタートとする。

「はばたきクラス」申合せ事項

1. 本大会は、令和8年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」および本大会「申合せ事項」および「競技上の注意事項」を適用する。
2. 競技順序は「実施種目一覧表」の上から順番に行い、レースは女子から男子、障害区分番号の上から順に行う。
3. 介助者は泳者がスタート位置についたら泳者から離れ、声かけ、伴泳はしてはならない。
4. スタートは1回のみとし、やり直しは行わない。フォルススタートは失格とする。他の選手がフォルススタートを行った場合でも、出発合図員の合図にてスタートすること。
5. 浮助具使用（区分番号22）では、制限時間（5分間）を設けて実施する。その制限時間を超えた場合は、タイムオーバーの失格とする。
6. 浮助具を使用する選手のゴールタッチは、身体の一部が壁に触れたことにより判定する。
7. 招集所は体育館内とし、招集は競技開始の15分前開始。5分前終了とする。時間に遅れた場合には棄権とみなし、呼び出しは一切行わないので注意すること。
8. 競技時間は進行の都合により変更する場合があるので、招集所の表示に注意すること。
9. 全種目水中スタートとする。

「オープンクラス」申合せ事項

1. 本大会は令和8年度「全国障害者スポーツ大会競技規則」および本大会申合せ事項を適用する。
2. 制限時間（10分）を設けて実施する。その制限時間を超えた場合は、タイムオーバーの失格とする。
3. 介助者は泳者がスタート位置についたら泳者から離れ、声かけ、伴泳はしてはならない。
4. スタートは1回のみとし、やり直しは行わない。
フォルススタートは失格とする。他の選手がフォルススタートを行った場合でも、出発合図員の合図にてスタートすること。
5. 浮助具を使用する選手のゴールタッチは、身体の一部が壁に触れたことにより判定する。
6. 4×25m フリーリレーのオーダー用紙はチーム代表者が必要事項を記入し **→13時まで** に、招集所に提出すること。